

推薦図書登録票

1 命・生き方

中学校

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
1	1	生きることの意味	ちくま文庫	高史明	在日朝鮮人の少年の生き立ちをたどりながら、人間が生きることの意味を考えることができる作品。
2	1	いのちの教室 あなたの最期が私に教えてくれたこと	集英社	明	「生」と「死」について、病棟看護師の著者が描くヒューマンコミックエッセイ。誰しもが必ず経験する物語から「生きること」について考えさせられる作品。
3	1	風の旅	学研パブリッシング	星野富弘	思いがけない事故により手足の自由を失った作者が、何気なく咲く花々への感動を絵と詩に託していく。生きていくことの幸せを考えさせられる一冊。
4	1	君たちはどう生きるか	マガジンハウス	吉野 源三郎	勇気、いじめ、貧困、格差、教養…。様々なテーマに真摯に向き合う登場人物から、数多くの生き方の指針となる言葉が示されている。
5	1	幸せをはこぶ使者	岩崎書店	日野多香子	目の見えない人のために活躍する盲導犬。ひたむきに仕事をする犬たちの姿と、人との交流から温かい心、豊かな心が育ちます。
6	1	13歳のキミへ	実務教育出版	高濱 正伸	勉強・友達・異性・いじめ・将来の夢…。13歳のキミがぶつかりそうな壁を乗り越えるためのヒントをが伝える作品。
7	1	14歳からの哲学	トランスビュー	池田晶子	人は14歳以降、一度は考えておかなければならないことがある。「考えるための教科書」30のテーマを取り上げ哲学を親しみやすく伝える作品。
8	1	新 13歳のハローワーク	幻冬舎	村上龍	今興味を持っていることを追求していくことでさまざまな職業に触れ、自分の将来について考えるきっかけとなる本。
9	1	沈黙	新潮文庫	遠藤周作	神の存在、背教の心理、東洋と西洋の思想的断絶等を追求した問題作。「信じること」とはを考えさせてくれる作品。
10	1	電池が切れるまで	角川書店	すずらん会	小さな体で精一杯病気と闘いながら生きる子供の姿を通して、感動が心に伝わってくる作品。
11	1	夏の庭	新潮文庫	湯本香樹実	3人の小学生が人の死を見たいというとんでもない理由から一人の老人と知り合う。4人の心の交流がとても温かく読者の心に響く作品。
12	1	マザー・テレサ かぎりない愛の奉仕	くもん出版	沖守弘	「20世紀を作った20人」のひとりに選ばれたマザー・テレサ。マザーの仕事を写真とエッセイで紹介。人類愛と平和を考える作品。
13	1	レイチェル・カーソン	理論社	ワズワース	「地球の恩人」と言うべき科学者カーソンの生涯から、人間の自然への責任を考えさせられます。

2 日本の名作

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
14	2	伊豆の踊子	新潮文庫	川端康成	自らの孤児根性に悩み、その状態から救われようとして、伊豆の旅に一高生と旅芸人一座の踊り子との淡い恋を描いた作品。
15	2	銀河鉄道の夜	新潮文庫	宮沢賢治	少年ジョバンニは友人カムパネルラとともに銀河鉄道に乗り込む。二人の待ち受けていたものは…。自分自身の想像力をかき立てられる作品。
16	2	金閣寺	新潮文庫	三島由紀夫	金閣寺の美しさに魂を奪われ、放火した若い学僧の心のかつとうを描いた作品。三島由紀夫の名文がその悲劇を描きます。
17	2	蜘蛛の糸・杜子春	新潮文庫	芥川龍之介	「鼻」をはじめ「羅生門」など古典を題材を求めた作品で、人間の心理の深いところをえぐるようにとらえた作品。
18	2	こころ	集英社文庫	夏目漱石	恋人を得るために親友を裏切り、自己を責め、苦しみ、ついには自殺をしてしまう「先生」の心の葛藤を描いている。人間のエゴイズムを考えさせられる作品。
19	2	小僧の神様・城の崎にて	新潮文庫	志賀直哉	短く凝縮された一文の中に、無駄なく、かつその意味するところがありありと視界の奥に甦るほどに鮮明な像を結ばせる1冊。
20	2	山椒大夫・高瀬舟	新潮文庫	森鷗外	他に迎合せず自分の頭で考えるべきだと思ながら人との関係性を捨てきれない、二律背反な世界観の不思議な読後感が味わえる、奥深い作品集。
21	2	注文の多い料理店	岩波少年文庫	宮沢賢治	山で二人の紳士が見つけた料理店。客に対して注文が多いのはなぜか…。その結末の意外さが親しまれる宮沢賢治の異色作。
22	2	人間失格	新潮文庫	太宰治	人間の心の奥深く、真っ暗な部分を克明に書き表しているような作品。まるで写真で撮るかのよう「心」を描写している一冊。
23	2	坊ちゃん	新潮文庫	夏目漱石	四国のとある中学校に赴任した坊ちゃんは俗物教師どもに正義の鉄槌を下していく。ユーモアあふれる作品。
24	2	友情	新潮文庫	武者小路実篤	恋愛と友情の問題をテーマに簡潔で明るい文体によって描かれた、武者小路実篤の代表作。本当の友情・友人について考えさせられる作品。
25	2	雪国	新潮文庫	川端康成	ひとりの男の透徹した意識に映し出される女性の美しさ。日本の美、日本の美しい心、日本女性の心情を描いた作品。
26	2	羅生門・鼻	新潮文庫	芥川龍之介	「鼻」をはじめ「羅生門」など古典を題材を求めた作品で、人間の心理の深いところをえぐるようにとらえた作品。
27	2	吾輩は猫である	新潮文庫	夏目漱石	一匹の猫が、人間社会を観察するという構想をもとに手厳しい風刺をユーモラスに描いてある作品。

3 海外の名作

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
28	3	異邦人	新潮文庫	カミュ	太陽が眩しくてアラビヤ人を殺し、死刑判決を受けた後も自分は幸福であると確信する主人公ムルソー。不条理をテーマにした作品。
29	3	車輪の下	新潮文庫	ヘルマン・ヘッセ	「天分のある子」として期待されたハンス。猛勉強のすえに神学校に入学する。厳格な教育にたえられず、反抗に駆りたてられた主人公について考えさせられる作品。
30	3	罪と罰	新潮文庫	ドストエフスキー	罪とは何か、罰とは何ぞや？誰もが考えてしまう命題に、自己と世界との関係を徹底的に見つめなおし、人間の真の尊厳のありかを探った作品。
31	3	変身	新潮文庫	カフカ	朝、目を覚ますと巨大な毒虫に変わっている自分を発見した男―第1次大戦後のドイツの精神的危機、新しきものの待望を託した作品。
32	3	ライ麦畑でつかまえて キャッチャー・イン・ザ・ライ	白水社	J.D.サリンジャー・ 村上 春樹(翻訳)	自身の落ちこぼれ意識や疎外感に苛まれる主人公が、妹に問い詰められて夢を語る。今もなお若者たちの心をとらえる名作。
33	3	レ・ミゼラブル	国土社	ユーゴー	邦題「ああ無情」。主人公ジャン・バルジャンの数奇な運命を19世紀前半の混乱したフランス社会を背景に描いた大作。
34	3	老人と海	新潮文庫	ヘミングウェイ	キューバの老漁師サンチャゴは、84日の不漁の後、大きなマカジキを釣る。一人で小舟を操り、に昼夜にわたる死闘の末大魚をしとめる
35	3	ロミオとジュリエット	新潮文庫	シェークスピア	親同士の子の争いの犠牲となった若者と美しくも悲しい少女のひたむきな恋物語を描いた作品。

4 学校生活・友達

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
36	4	一瞬の風になれ	講談社	佐藤 多佳子	高校三年間に陸上に懸ける新二と連。挫折や困難を乗り越えて、インターハイ出場をめざす。夢中になって取り組むことのすばらしさを教えてくれる。
37	4	機関車先生	講談社	伊集院静	病気のせいで口がきけない先生・・・大人たちの心配をよそに子どもたちは、本当に大切なものを学んでゆく。人間の優しさについて考えさせる作品。
38	4	くちびるに歌を	小学館	中田永一	五島列島にある、とある中学校の合唱部がNHKコンクールの長崎県大会を目指す。瑞々しい生徒の心の動きが描かれた作品。
39	4	笹森君のスカート	講談社	神戸遥真	同級生の男子、笹森君がスカートを履いて登校したことから、登場人物がそれぞれの視点で自分自身の内側にあるものを見つめなおす姿が描かれている作品。
40	4	そこに僕はいた	新潮文庫	辻仁成	転校を繰り返した少年時代。学校で出会った友人や仲間との思い出がつづられたエッセイ。親友と友人の違い、人生観、などとても考えさせられる一冊。
41	4	二十四の瞳	新潮文庫	壺井栄	小豆島の分教場に赴任してきた大石先生と12人の教え子の愛情あふれる作品。戦争のもたらす不幸の中で懸命に生きる人々の姿。
42	4	ぼくは勉強ができない	新潮文庫	山田詠美	りりしくてクールな主人公の姿を通して、現代の高校生の考え方を感じ取れる。気負わずに読める楽しい作品。
43	4	窓ぎわのトットちゃん	講談社	黒柳徹子	「君は本当はいい子なんだよ。」この言葉に支えられて・・・。人との関わりの中で成長し、個性を伸ばした作者の子供時代を描いた作品。

5 戦争

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
44	5	あそこはフリードリヒがいた	岩波少年文庫	リヒター	主人公の少年は、ユダヤ人フリードリヒと彼を差別する周囲の人々との間で苦しむ。第二次大戦下のユダヤ人迫害と少年の友情を描いた作品。
45	5	アンネの日記	文芸春秋	アンネ・フランク	ユダヤ人アンネ・フランクが隠れ家での二年間の生活をつづったもの。ナチスのユダヤ人迫害。人はなぜ憎しみ、殺しあうの？平和と差別を問いかける作品。
46	5	おとなになれなかった弟たちに	偕成社	米倉斉加年	栄養失調で死んでいった弟に寄せるつらく切ない思いをつづり、戦争の非人間性を訴える作品。
47	5	ガラスのうさぎ	金の星社	高木敏子	母が子に語る戦争体験として、十二歳の少女の体験を通して戦争を知らない子供たちに、戦争の悲惨さと恐ろしさを訴えた作品。
48	5	ひめゆりの塔	講談社文庫	石野径一郎	沖縄の米軍との戦闘で負傷兵の看護にあたった女学生「ひめゆり部隊」の悲劇を描いた作品。
49	5	アメリカひじき・火垂るの墓	新潮社	野坂昭如	現在からは想像もつかないほどの苦しい生活のなかで、幼い兄弟が必死に生きていこうとする姿。生きることの意味を見失ったとき読んでもらいたい作品。
50	5	絵で読む 広島原爆	福音館	那須正幹	ヒロシマに投下された原子爆弾。当時の町を詳しく調査し、爆発の恐ろしさを細かなタッチの絵で伝える本。原子爆弾について詳しく学べる。
51	5	ある晴れた夏の朝	偕成社	小手鞠い	アメリカの8人の高校生は、広島と長崎の原爆投下の是非についてディベートをする。日本、アメリカの両国の考えを学ぶことのできる一冊。読書感想文の課題図書。

6 推理・ミステリー

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
51	6	火車	新潮文庫	宮部みゆき	自らの力では抗えない過酷な運命に押し流された主人公の生き方に、現代社会が抱える闇をかいま見ることができる。自分の生き方を考えさせられる本。
52	6	シャーロック・ホームズの冒険	偕成社	コナン・ドイル	次々と起こる事件、謎。僅かな証拠から導き出される鮮やかな推理。誰もが一度は夢中になって読む作品。
53	6	そして誰もいなくなった	早川書房	アガサ・クリステイ	ある富豪に呼ばれ、孤島に集まった人たち。彼らは一人、また一人と何者かに殺されてゆき…。最後のどんでん返しに呆然。ミステリーの女王クリステイの最高傑作。
54	6	真夏の方程式	文藝春秋	東野圭吾	物理学者・湯川が事件の謎を解くシリーズの一つ。夏の美しい海に見える宿で、変死体が見つかって…。
55	6	三毛猫ホームズの推理	角川文庫	赤川次郎	長い間愛される「三毛猫ホームズ」シリーズは、読みやすい文体ながら人間ドラマも十分な読み応えのある推理小説。

7 ベストセラー、映画・ドラマ原作

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
56	7	推し、燃ゆ	河出書房新社	宇佐美りん	本屋大賞受賞作品。多くの人が使うようになった「推し」という表現が生徒の共感を得られる。
57	7	かがみの孤城	ポプラ社	辻村深月	不登校の主人公が居場所を探す物語。中学生にも人気のある辻村深月のベストセラー。
58	7	コンビニ人間	文藝春秋	村田沙耶香	コンビニで働くことで自分の存在を確認できる主人公は、周りから押し付けられる「普通」に悩んでいる。芥川賞受賞作品。
59	7	博士の愛した数式	新潮社	小川洋子	記憶力を失った数学者、その家に家政婦として雇われた「わたし」、博士に可愛がられる息子。3人のせつなくて心温まる物語。人間の温かさが伝わる作品。
60	7	蜜蜂と遠雷	幻冬舎	恩田陸	ピアノコンクールが舞台で、4人の登場人物がそれぞれの思いを抱えぶつかり合う。映画、漫画など多数のメディア化もされている。
61	7	ハヤブサ消防団	集英社	池井戸潤	人気作家である池井戸潤のミステリー作品。主人公の小説家は、都会暮らしに見切りをつけ父の故郷であるハヤブサ町という田舎に移り住むが、そこで次々に事件が起こり…。メディア化作品。
62	7	ハリーポッターのシリーズ	静山社	J・K・ローリング	魔法使いハリー・ポッターが大活躍。映画でもおなじみの史上最強のファンタジー。分厚いけれど一気に読めてしまう本。
63	7	鉄道員	集英社	浅田次郎	幌舞の駅長乙松は、幼い娘・妻を亡くした日も駅に立っていた。定年も迫ったある日、見知らぬ少女が駅長室を訪れる。ひとりの男の生き方を描いた作品。
64	7	指輪物語	評論社	トールキン	主人公達が、内面の葛藤を経ながら自己犠牲の旅を続けていくこの物語は、暗い時代に生きる現代人にこそ新たな感動を与えてくれる本。
65	7	ライオンと魔女 ナルニア国ものがたり	岩波書店	C.S. ルイス	たとえちょっと道を踏み外しても自らの力で修正できるのだということ、人間が信じ合い、助け合うということはどういうことかを雄弁に語ってくれる1冊。
66	7	龍馬がゆく	文芸春秋文庫	司馬遼太郎	坂本龍馬の生涯を描いている。自分が将来こうなったらよいという夢に向かって、ひたすらに走り続ける主人公の強い魅力を感じる1冊。

8 詩集・句集等

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
67	8	これが私の優しさです -谷川俊太郎詩集	集英社文庫	谷川俊太郎	人や動物、自然、物に注がれる優しい視線と、優しさの底に湛えられている悲しみや寂しさ、それがあるからこそ優しくなれることを改めて感じさせてくれる1冊。
68	8	サラダ記念日	河出文庫	俵万智	現代のことばを使って、現代の感覚を短歌で伝える。何気ない言葉の中に安らぎが感じられる作品が詰まっている一冊。
69	8	のはらうた	童話屋	工藤直子	教科書にも掲載される工藤直子の詩集。1～5巻、特別編「わっはっは」がある。自分ものはらの仲間になったつもりで読める作品。
70	8	ポケット詩集	童話屋	田中和雄編	どれも心に強く確かなものを残す、美しい言葉により綴られた数々の詩。手にとっては繰り返し読みたい詩集。
71	8	ラインマーカーズ The Best of Homura Hiroshi	穂村弘	小学館文庫	現代の短歌はもちろん、さまざまな分野に影響を与えた穂村弘の文庫版作品集。短い短歌の広い世界を味わえる。時代の違う作家の本と読み比べることで、言葉の変化を学習することもできる。
72	8	わたしと小鳥とすずと	JULA出版 局	金子みすず	子供から大人まで、読んだ人は、誰もが優しい気持ちになれる。読んだだけで心が温まり自分もみつめなおせる作品。

9 少年少女向け(国内)

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
73	9	あこのころ	集英社	さくらももこ	さくらももこエッセイシリーズ。著者の「あこのころ」が面白おかしく描いてある。歯切れのよい名調子は芸術的ですからある作品。
74	9	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	スターツ出版文庫	汐見夏衛	現代からタイムスリップした少女は、第二次世界大戦中の日本で一人の青年と出会い恋をする。人との絆や戦争について学べる。
75	9	カラフル	理論社	森絵都	死んだはずの魂が中学生の体にホームステイし、ちょっと悲惨な家族や一風変わった友達に出会う。生きることの大切さを問うコメディ。
76	9	高安犬物語	国士社	戸川幸夫	日も雪山を歩き抜く忍耐力と相手が斃れるまで食い下がる闘魂を持った高安犬。その最後の一頭の勇姿と悲劇的な死を描いた作品。
77	9	そしてバトンは渡された	文藝春秋	瀬尾まいこ	血のつながらない親の間をリレーされても、愛されて暮らす主人公が結婚するまでの物語。家族について考えさせられる一冊。メディア化。本屋大賞。
78	9	チア男子！	集英社	朝井リョウ	柔道に打ち込んでいた主人公は、ケガをしたことで柔道を離れチアリーディングチームを結成する。しかし集まったのは個性的メンバーばかりで…。部活動を頑張る生徒たちに共感してもらえる1冊。
79	9	ナイフ	新潮文庫	重松 清	いじめられている子供の気持ちや、その家族の姿も上手く描き出し、子供の視点からいじめを描いた、中学生が共感できる作品。
80	9	西の魔女が死んだ	新潮社	梨木果歩	祖母の教えてくれる魔女の修行は、人として自分らしくしあわせに生きるためのヒントなのかもしれない。
81	9	舟を編む	光文社	三浦しをん	主人公は新しい辞書『大渡海』を編集する部署に引き抜かれるが、完成までは長い長い航海のような多難な道のりであった。仲間と協力して仕事をやり遂げること、言葉について学べる。
82	9	ボッコちゃん	新潮文庫	星新一	意外性あふれるユニークな発想、シャープな風刺に満ちた小宇宙群。作者のするどい感覚に、現代の社会に生きる自分を見つめ直すことができる一冊。
83	9	ほんまにオレはアホやろか	新潮文庫	水木しげる	「ゲゲゲの鬼太郎」を生んだ筆者の生涯を激動の昭和史とともに描いた作品。読むと何だか元気が出てくる。
84	9	わたしのいもうと	偕成社	松谷みよ子	他人の心は見るができないからこそ、その「目に見えないものに思いを馳せる力」が人間には求められるのだということに改めて考えさせられる絵本。
85	9	わたしのうつくしい庭	ポプラ社	凧良ゆう	マンションの屋上にある縁切り神社が舞台。さまざまなものを切り離したい人が訪れるが…。自分らしく生きるとは何か。生きづらさを抱える気持ちに寄り添う作品。

10 少年少女向け(海外)

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
86	10	青い鳥	新潮文庫	メーテルリンク	チルチル・ミチルの冒険を通して、「気づかないけれども、本当の幸せは身近にある」ということを教えてくれる夢の物語。
87	10	赤毛のアン	新潮社	モンゴメリ	赤毛でそばかすだらけのアン。いつも明るく、夢見る少女のアンが、周囲の人たちに好かれながら、すばらしい女性に成長していく話。
88	10	アルジャーノンに花束を	早川書房	ダニエル・キイス	並はずれた知能を手に入れた青年の愛と憎しみ、喜びと孤独を通して人間の心の真実にせまる作品。人にとって大切な物は何かと言うことを考えさせてくれる1冊。
89	10	かもめのジョナサン	新潮社	リチャード・バック	群れから追放されても曲芸飛行に命をかけるかもめのジョナサン。夢と幻想にあふれる現代のおとぎ話。
90	10	クリスマスキャロル	新潮文庫	ディケンズ	子供にはクリスマスという日の夢と現実を、大人には自分という存在を、それぞれ確認させられる、そんな一冊。
91	10	最後のひと葉 (O・ヘンリー短編集)	岩波少年文庫	O・ヘンリー	O・ヘンリーの短編は、どれもユーモアに富み、鮮やかなオチがある。登場人物の誠実な生き方や思いやりの心など様々な心情に共感できる作品。
92	10	ジョン万次郎 海を渡ったサムライ魂	集英社	マーギー・プロイス	江戸末期、14歳で漁に出たまま遭難し捕鯨船に助けられてアメリカに渡る。異国の地で差別にくじけることなく強く生き抜いていく万次郎の前向きな生き方に引き込まれていく作品。
93	10	ソフィーの世界	NHK出版	ヨースタイン・ゴデル	14歳の少女ソフィーのところに届けられる不思議な手紙。次々に届く手紙を通して哲学の歴史をたどる。
94	10	種をまく人	あすなる書房	ポール・フライシュマン	治安の悪い地区のゴミ捨て場に一人の少女が豆の種をまくと、国籍や年齢の異なる人々が少女の手助けをはじめ、ゴミ捨て場は畑へと変わっていく。心温まる作品。
95	10	不思議の国のアリス	新潮文庫	ルイス・キャロル	白いウサギを追って穴に飛び込んだアリスが、奇妙で不思議な冒険をします。世界中で読まれているファンタジーの傑作。
96	10	ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー	新潮社	ブレイディみかこ	進学校に通っていった「ぼく」が元底辺中学の環境でいろいろな問題と向き合い乗り越えていく日常を描いたノンフィクション。差別と無知、多様性とは？
97	10	星の王子さま	岩波書店	サン・テグジュペリ	真実をみることの出来る心で、大切にしていかなければならないものを感じ取り、それを生かしていくことで人は豊かになれるのだと教えてくれる一冊。
98	10	モモ	岩波書店	エンデ	時間に追われ、人間本来の生き方を忘れていく人々に、時間の本当の意味を問いかける作品。
99	10	わたしはマララ：教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女	学研プラス	マララ・ユスフザイ	タリバンによる女性教育弾圧に反対し「すべての子どもに教育を」と訴えたことを理由に、イスラム武装勢力に襲撃され重傷を負った16歳の少女マララの手記。

11 家族

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
100	11	岳物語	集英社	椎名誠	旅行を繰り返して家にあまりいない父、わんぱくで釣り好きの息子岳。父の目を通して、柔らかく読みやすい文体で岳の成長が綴られている一冊。
101	11	父の詫び状	文芸春秋	向田邦子	父を温かいまなざしで見つめた随筆集。胸の中にある父のいる懐かしい家庭の息づかいを、ユーモアをまじえて描き出している作品。
102	11	ぼくのお姉さん	偕成社文庫	丘修三	正直に言い出せないでドキドキする男の子達の気持ちに共感したり、シラを切り通す男の子達を許せないと思う正義感がわき出したりする作品。

12 自然・環境

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
103	12	アラスカ永遠なる生命	小学館	星野道夫	アラスカの大自然の中で星野が多くの生命と出会い残した数々の写真作品とエッセイの中から、選りすぐった臨場感あふれる写真集。
104	12	木のいのち木のこころ	草思社	西岡常一	木と向き合っ仕事をする中で色々なことを学んできた作者。木の話ではあるが、人間と人間との関わりについても考えさせてくれる1冊。
105	12	シートン動物記	集英社	シートン	様々な動物の読んで楽しいエピソードが、シートンの鋭く的確な観察をもとに描かれた作品。
106	12	フェアブル昆虫記	岩波書店	フェアブル	「わたしたちのまわりにいる虫はどんな暮らし方をしているのだろう」など自然に対する興味関心を持つことにより自然愛護の心を育ててくれる一冊。
107	12	夢をかなえるゾウ	飛鳥新社	水野敬也	笑って泣けて、あなたの心を潤してくれる。今の自分を変えたいと思っているあなたにこそ、ぜひ、読んでもらいたい一冊。

13 郷土

	分類	書名	出版社	作者名	その本で期待される心の豊かさ
108	13	美しい日本の季語	誠文堂新光社	金子兜太	熊谷市名誉市民の俳人。「季節を知ると、生き物への思いが深まる、日々の暮らしが豊かになる」一日一つ、365個の季語が、日本語の豊かさを感じさせてくれる一冊。
109	13	荻野吟子とジェンダー平等	多摩川大学出版部	堺正一	近代日本における女医第一号である荻野吟子の生涯を、吟子自らが語りながら話が進む。吟子は、さまざまな困難を乗り越えて女医の道を切りひらき、男女平等社会の実現をめざした。
110	13	語りつぐ者	さ・え・ら書房	パトリア・ライター・ギフト もりうちすみこ訳	熊谷市ゆかりの児童文学翻訳家。第60回青少年読書感想文全国コンクール課題図書。アメリカ独立戦争に巻き込まれた18世紀の少女と21世紀の少女、1枚の絵がそっくりな2人をひきあわせる。
111	13	人間の証明	角川文庫	森村誠一	熊谷市が生んだベストセラー作家、森村誠一の代表作。ある犯罪者が自分の罪を受け入れるが、それは自分が人の心を持っていることの証明になった。
112	13	のぼうの城	小学館	和田竜	熊谷市のとなり、行田市の忍城をモデルにした小説。映画化もされた。主人公成田長親の成田氏の菩提寺や一族にゆかりのある地が熊谷にも数多くある。
113	13	ひとり日和	河出書房新社	青山七恵	熊谷市出身の芥川賞作家。第136回芥川賞受賞作。20歳の知寿が居候することになった遠い親戚の吟子さんの家。「自立」とは何かを考えさせる作品。